

## 友の会通信

2012  
Vol.  
27

～群馬県立自然史博物館友の会～

～安中市・崇台山～  
友の会自然観察会「里山の植物を観察しよう」

快晴に恵まれた5月27日(日)、「安中市ふるさと学習館」に受講者17名は参集し、観察会は行われました。事務局から、講師里見哲夫先生の紹介、観察コースの説明、観察用具の配布等を受けて出発しました。

崇台山(299m)は、富岡市と安中市にまたがる低山ですが、「ぐんま百名山」のひとつです。観察コースは、「ふるさと学習館～北側道路～上間仁田地区～登山口～山頂広場」の2時間コースでした。ふるさと学習館周辺の道端や空き地などには帰化植物(外来植物)が非常に多く生育していました。北アメリカ原産のヒメジョオンとハルジョオン、同種でも在来種と外来種で微妙な違いがあるイヌノフグリとタチイヌノフグリ、ミミナグサとオランダミミナグサ、ニホンタンポポとセイヨウタンポポなどの見分け方については、とてもわかりやすく教えていただきました。また、ササとタケの違いやクマザサの名前の由来などについては実に興味深いものがありました。



登山道では、マムシグサ、タチツボスミレ、ヤマユリ、オケラ、ベニシダ、オオバコ、ニセアカシヤ、ウルシ等々を観察しながら山頂広場に到着しました。山頂では、360度の展望が素晴らしく、ぐんまの名峰がずらっと並び、さすが百名山と納得できました。

一息入れて下山。下山途中で見たホタルカズラの赤紫色の可憐な花は印象的でした。

このように素晴らしい観察会の講師をしてくださった講師の里見先生、事務局の方々に感謝申し上げます。

## 【参加者の声】

- ★ふだんの散歩でも道端などに足を止め、いろいろな植物を見てみたいと思いました。(中川きくえ)
- ★崇台山からの眺めに感動しました。また、竹とササの見分け方、葉や花の違いを詳しく観察し、あらためて身近な植物に驚きました。(今井智江)
- ★里山の植物がとてもきれいでした。(茂木照弘)
- ★花が多く、楽しむことができました。多くの説明をしていただき、勉強になりました。(手島光平)
- ★同じ植物でも、家の周りとは育ち方が違って驚きました。子連れでも楽しく参加できました。(手嶋美由紀)
- ★先生が絵を使って説明してくださり、楽しかったです。サンショウのトゲが対生で、イヌザンショウのトゲは互生だということが印象的でした。(吉田るみ子)
- ★観察会の回数をもっと増やしてほしいです。(吉田喜代実)
- ★植物に関して、とても勉強になりました。春と秋に開催するとまた違った景色が楽しめると思います。(柳澤敬一)
- ★マムシソウについて、茎や花の中の様子等、とても楽しく聞かせてもらいました。さわやかな緑、空気の中でとてもよい半日でした。(徳江興江)

# 平成24年度「友の会総会」開催

平成24年5月13日(日)

平成24年度の総会が、5月13日(日)午前10時から博物館学習室で行われました。総会では、昨年度の事業報告及び決算報告、今年度の事業案並びに予算案について審議されました。また、この日は、当館が行う「博物館の日」でもありました。館内では、ボランティアさんによる「化石のレプリカづくり」や「学芸員による特別解説」が行われました。会員の皆様の中でも、参加していただいた方がいらっしゃると思います。



## 【平成24年度友の会役員紹介】

今年度は運営委員、事務局員それぞれ2名が変わりました。会長・副会長の変更はありません。下記役員となりましたので、よろしくお願いします。

### 《平成24年度の役員・事務局》

【会長】 川原 英雄

【副会長】 山田 利和

柚木 郁(運営委員を兼ねる)

【監事】 松井 則幸・瀬下 保

【運営委員】 角田 寛子・堀越 友子

堀越 武男

【運営委員】 徳江 紀・櫻井 昭寛

三友 賢一

【顧問】 横田 英一・青木 道雄

原 浩一郎・池下 隆雄

【事務局】 住谷 親介・岩井 利信

武井 郁也

## 友の会講演会



総会後に当館長谷川善和名誉館長を講師に迎え、友の会講演会を行いました。今回のテーマは、「小さなナウマンゾウ」でした。まず、名誉館長は栃木の葛生の地形について話され、発見された場所が「深さが2、30mのたて穴であった」ことを説明してくださいました。発見されたのは、2頭分の化石で、ともにメスと確認されました。講演の中で特に印象深かったことはナウマンゾウの歯の形です。マンモスやアフリカゾウとは違い、中央部が「ひし形」になっていることです。この形状が発見された化石がナウマンゾウであることを決定づけました。



# 私が見つけた自然

友の会会員からの  
おたより



## 『金環日食』

期日：2012.5.21

場所：茨城県大洗町の大洗サンビーチ

天候が心配されていたので、茨城県で撮影してきました。前回の25年前から待ちに待った金環日食でした。想像していたよりもきれいで、宇宙の神秘を少し感じたあつという間の4分間でした。次回の2030年に北海道で見られる金環日食まで、またしばらく待つことにします。

(倉金秀行)



## 『アカボシゴマダラ』

期日：2012.5.15

場所：群馬県伊勢崎市の自宅

近年、人為的な放チョウによるものとみられるアカボシゴマダラらしき幼虫が、今年の春、我が家のエノキの枝でみつけられました。成長を見守り羽化した姿は、やはりアカボシゴマダラでした。本来群馬県にいるはずのない昆虫の姿に、少し複雑な思いがしました。

(倉金秀行)



## 『木漏れ日の三日月の太陽』

期日：2012.5.21

場所：群馬県高崎市の自宅

日食メガネで金環日食を観察して、家に入ろうとした時に、愛車のボンネットに、木の葉の間から差し込んでくる日の光が三日月の形に映っているのをみつけました。日食のときの太陽の形を見たのは初めてだったので、感動しました。早く気づいていれば、「金環日食のときの太陽のリングが撮影できたのに・・・」とちょっと悔しい気分になりました。

(友の会 事務局)



## 友の会視察研修旅行のお知らせ

今年度は、「山梨県立博物館」並びに「サントリー天然水白州工場」を予定しています。期日は11月4日(日)です。募集案内は後日発送します。定員は45名です。応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。



### 【山梨県立博物館】

「山梨の自然と人」を活動の基本におき、山梨の豊かな自然と人々がどのように向き合ってきたのかという歴史を紹介してくれる博物館です。「歴史の体験工房」は、山梨の歴史と文化を五感で体験できる展示になっています。実際に資料を触ったり、昔の衣装を着たり、おもちゃで遊んだり、江戸時代の体験ができるゲームや、方言や民謡を聞くことができます。研修旅行当日は企画展「黄金の国々-甲斐の金山と越後・佐渡の金銀山-」を開催中です。

### 【サントリー天然水白州工場】

「サントリー天然水白州工場」は山梨県北杜市白州町にあり、南アルプス・甲斐駒ヶ岳のふもと、雄峰を駆け下る清冽な水が白い砂の扇状地をつくり生まれた、「サントリー天然水」を製造しています。サントリー天然水白州工場で「サントリー天然水(南アルプス)」の製造工程を「ウイスキー&天然水ガイドツアー」で見学する予定です。今、話題の工場見学です。ウイスキー原酒が眠る貯蔵庫も見学でき、試飲もできるので、楽しみにしててください。

## これからの友の会イベント

### ◆観察会「下仁田ジオパークを探検しよう」

期日: 10月20日(土) 9:00~12:00 場所: 下仁田町自然史館周辺

### ◆天体観望会「天体写真を撮ってみよう」

期日: 1月19日(土) 17:30~19:30 場所: 自然史博物館学習室・天体ドーム



## 友の会入会のお知らせ

### 年会費

- ①一般会員 — 3,000円
- ②高・大学生 — 2,000円
- ③小・中学生 — 1,000円
- ④家族会員 — 5,000円
- ⑤賛助会員(1口) — 10,000円

★10月以降の入会は、年会費が半額となります。

★入会されますと、博物館入館料が無料になるなど、多数の特典があります。

## わたしが見つけた自然 募集中

自分の身の周りで、かわいらしい自然を見つけたとき、珍しい自然と出会ったとき、その瞬間をカメラで記録し、写真とその時のエピソードを添えて自然史博物館友の会へ封書またはメールでお送りください。友の会通信で紹介させていただきます。なお、応募していただいた方全員にオリジナルポストカードを、友の会通信で紹介させていただいた方には素敵な賞品をプレゼントいたします。

## 賛助会員(7月末現在) 以下、法人・個人の方に趣旨賛同いただきました。ありがとうございました。

高崎冶金工業株式会社・(有)市川会計事務所・三栄商事株式会社・ジャーナル印刷株式会社  
市川食品株式会社・IPF株式会社・(有)山田会計・(有)松井会計事務所  
群馬小型運送株式会社・赤尾商事株式会社・野口会計事務所・川原英雄・佐藤春利

### 編集後記

自然界の不思議を二つ。友の会主催の崇台山の里山観察会で教えていただいたマムシ草。雌雄異株で、花粉をつけた虫は雄花からの脱出口から逃げられるが、めしべに花粉をつけた虫は雌花から抜けられず死ぬとのこと。こんな仕組みを雌花はどうしてつくりあげたのか。太陽と月と地球の大きさや距離が、絶妙に並んだときの金環日食。木漏れ日に写る環や三日月の太陽。理屈はわかっているけど、やはり不思議はみたいです。